

令和7年度 修了式 講話

令和7年度は、昨年度と同様に真夏の日々が長期間にわたる一方、今年に入り西日本の広い範囲において記録的小雨が続き、今後水不足が懸念される状況が生じており、地球規模の気候変動の影響が感じられるという指摘もみられます。しかし、3月に入り次第に桜の開花も伝えられる等、年度の終わりに相応しい時節となり、こうした中で本年度の修了式を迎えることとなりました。

1・2年生の皆さんは、それぞれ教育課程に基づく1年間の学びをしっかりと修め、次の学年に進むこととなります。ここに、皆さんの日々の努力を大いに評価しています。一方で、皆さんを支え導いてくださった家族や地域の方々、さらには級友や先生方に対する感謝の気持ちを忘れず、今後、自らの新たな課題を見出した上で目標を据え、更なる成長を遂げていくことを期待します。

ここで、皆さんが回答してくださった本年度の「高校生の意識及び生活に関する調査」の結果から、この1年間の取組についての総括と今後の課題等について掘り下げてみます。

まず、「あなたは授業や特別活動等の学校生活全般に満足していますか。」という項目において、1・2年生は全員が「当てはまる」または「おおむね当てはまる」と回答しています。次に、「あなたは周囲や相手のことを思いやって生活できていますか。」、「あなたは学校全体や学級、部活動等をより良くするために自ら主体的に考え、行動できていますか。」及び「あなたは地域課題の解決や政治、選挙に関心があり、主体的に社会参画を目指していますか。」の3項目については、「十分当てはまる」と回答した人が昨年度から大幅に増えており、主体性や社会性を意識しながら学校生活に臨んでいることがうかがえます。

なお、皆さんの学校生活全般に対する充実度を更に高めていきたいという思いから、学校運営協議会の方々に御来校いただき、教頭先生と私も同席して生徒会の代表生徒数名からよりよい学校づくりに向けた提言等に耳を傾け、意見交換を行いました。具体的には、パブリックワークを中心とする探究活動の進め方、部活動の在り方のほか、島外での活動も視野に入れた模擬会社による販売実習の在り方等が取り上げられ、自分たちの力で積極的に新上五島町のPRに努め、地元をより活気付けたい、また、そのことにより個々の成長を図りたいという意欲が伝わってきました。今後、学校運営協議会の皆様等に御協力いただきながら、構想の具現化を図っていくことができればと考えています。

一方で、「あなたは学校の授業がどの程度分かりますか。」の項目において、昨年度は「だいたい分かる」と回答した人が8割近くを占め、「分かる」と回答した人はごくわずかでした。本年度は、「分かる」と回答した人が増加したものの、「分かることと分からないことが半々」と回答した人も少なからず見られ、授業の理解度については個々において大きな差が生じていることが見て取れます。さらに、昨年度の回答状況と比較できる2年生については、日頃の学習時間の伸びが察知できる状況であることを鑑みると、自身の授業に臨む姿勢やその活用状況を顧みることが欠かせないのではないかと考えます。

したがって、自身を高めていくためには、授業に対する理解を深め、「できる」、「身に付いた」と実感する機会を増やし、自己分析を踏まえ更なる努力を講じていくことが欠かせません。その最も身近で効率的かつ効果的な取組とは、日々の授業に全力で臨み、家庭での予習及び復習も含めてこのことを習慣化し、継続していくことに他なりません。再度、自身のことをよく振り返ってみてください。

ところで、ここで「自己理解」について、少し触れておきます。「自己理解」とは、自分自身の感情、思考、行動パターン、価値観、長所、短所等を深く認識し、理解することであり、自分の内面と向き合い、自分の本質を探し求める過程において、継続的な実践と自分自身の行動等を客観的に深く振り返り、その要因や意味について分析を行うことで、その過程自体が自己の成長に繋がるとも言われます。さらに、このことを深めていくためには、定期的に振り返りを行うこと、適切な目標を設定してその進捗管理を行うことに加え、他者との対話及び情報の共有等がその方法として挙げられます。加えて、こうした行為により、自分の強みや能力をより明確に認識して自信が向上し、自分の価値観や優先順位等がより鮮明になるとともに、他者の感情や視点をより深く理解して共感するようになることも捉えられています。社会的・職業的自立、学校から社会・職業への円滑な移行に必要とされる「基礎的・汎用的能力」に含まれる要素の一つとされることから、休業中の時間等を使い進んで取り組んでいくことを期待しています。

最後になりますが、「一月往ぬる二月逃げる三月去る」という慣用句があり、これにちなんで四月は「知る」月、五月は「動く」月と示されることがあります。休業中は、気持ちを引き締めて体調管理と事故等に留意し、充実した日々を過ごして、新年度に自己の目標に向けての動きを加速できるよう準備を整えてください。